

令和7年度 第1回鳥取県国土強靱化推進評価会議 概要

【日時】 令和7年9月9日（火） 15時から17時

【場所】 鳥取県立図書館 大研修室

【出席者】

分野	氏名	役職等	
行政	山川 泰成	鳥取市危機管理部長	出席
〃	景山 政之	日野町総務課長	
住宅・都市・環境	南波 一好	鳥取県建築士会理事	出席
保健医療・福祉	田中 響	鳥取看護大学教授	
エネルギー	真島 和人	中国電力(株)鳥取支社総務グループマネージャー	出席
産業・金融	倉光 千浪	倉吉商工会議所女性会	
情報通信	定道 正代	NHK鳥取放送局副局長	
物流	山崎 隆志	一般社団法人鳥取県トラック協会専務理事	出席
農業	武田 政信	鳥取県農業協同組合中央会総務部長	出席
国土保全・交通	梶見 吉晴	国立大学法人鳥取大学名誉教授（特任教授）：座長	出席

【概要（主な意見）】

（1）鳥取県国土強靱化地域計画（第2期計画）の概要について

- ・委員からの意見、質問なし。

（2）鳥取県国土強靱化地域計画（第2期計画）に係る施策の進捗状況について

- ・住民の主体的な取り組みに関するKPIの進捗状況について、住民個人の意思決定が影響するため、進捗状況にあまり変動が見られない（C評価※が横ばい傾向）。[梶見座長]
※C評価…やや遅れている（達成率25%以上50%未満）
- ・産業分野のKPIも業者主体のものであり、他分野と比べてC評価の割合が多く、県が行っている支援が評価に繋がっていないように思う。[梶見座長]
- ・農業従事者の高齢化や後継者不足により荒廃農地が増え、地域コミュニティが衰退している。田畑が持つ治水機能の衰退に繋がるので、第3期計画に農業施設の整備等を加えてはどうか。[梶見座長、武田委員]



（3）鳥取県国土強靱化計画「第3期計画」の策定方針について

- ・基本的な考え方は問題ないが、KPIの進捗管理を評価マネジメントが必要な項目に限定したり、分野ごとに評価等してはどうか。[梶見座長、山川委員]
- ・災害時の緊急支援物資について、集積場で采配する専門家がおらず、物資が集まっても避難所まで配送できていないことが課題になる。[山崎委員]
- ・土木インフラの耐震化や老朽化対策は、全体で優先順位をつけながら定期的に進めるべき。[真島委員]
- ・住宅の耐震化に係る相談は年々増えており、行政の補助率（予算）が増えればさらに推進されると思われる。[南波委員]
- ・第3期の計画策定に当っては、第2期の進捗状況を踏まえ、第2期計画までのシナリオは踏襲しつつ、国土強靱化実施中期計画（令和8～12年度）と調和させた計画を検討していくことを承認した。[梶見座長]

（4）鳥取県インフラ長寿命化計画（行動計画）第2期計画策定に向けた方針について

- ・委員からの意見、質問なし。

（5）今後のスケジュール

- ・委員からの意見、質問なし。